

皮膚科学

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：5年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

藤田 英樹(隣接医学 兼任講師)

松浦 大輔(隣接医学 兼任講師)

西盛 信幸(隣接医学 兼任講師)

井汲 菜摘(隣接医学 兼任講師)

伊崎 聡志(隣接医学 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

皮膚病変と口腔内病変は、臨床的に密接な関連を持ち、口腔内病変は皮膚疾患の診断に重要な位置をしめる。皮膚科学の総論と各論について、口腔内病変に関連を持つ事項を中心に、皮膚科学の基礎を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

歯科診療を行うために必要な皮膚科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

◆評価方法

隣接医学Ⅲ (7教科)

平常試験は「小児科学・耳鼻咽喉科学・眼科学・精神・神経科学」の範囲、定期試験は「皮膚科学・泌尿器科学・産婦人科学」の範囲で判定を行い、両方の試験を総合して各50%により評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科学第Ⅱ講座教授室	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

授業は教科書、PC、黒板を用いて行う。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	隣接医学Ⅲ (PDF ファイル配付)	日本大学歯学部編	日本大学歯学部	令和5年
参考書	あたらしい皮膚科学	清水宏	中山書店	平成25年

◆DP・CP

コンピテンス 4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンシー：4-1, 4-2, 4-3, 4-4, 4-7, 4-8

対応するディプロマ・ポリシー：DP4

コンピテンス 5：医療の実践

コンピテンシー：5-2, 5-4, 5-7, 5-9, 5-10

対応するディプロマ・ポリシー：DP5

コンピテンス 6：コミュニケーション

コンピテンシー：6-1, 6-2, 6-3, 6-4

対応するディプロマ・ポリシー：DP6

コンピテンス 7：地域社会への貢献

コンピテンシー：7-1, 7-2, 7-3

対応するディプロマ・ポリシー：DP7

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 I, II

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.4	7	1. 皮膚の構造と機能 発疹学・皮膚科症候学	・皮膚の解剖と生理の基礎について説明できる。 ・原発疹, 続発疹を中心とした発疹の診かたについて説明できる。	藤田 英樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
2		4.11	7	2. 皮膚科診断学～診断に必要な基本的検査～	・皮膚疾患の診断に必要な基本的な検査方法を説明できる。	藤田 英樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
3		4.18	7	3. 真菌感染症・	・皮膚症状の出現する真菌感染症・	藤田 英樹	E-6 医師と連

				性感染症	性感染症について説明できる。		携するために必要な医学的知識
4		4.25	7	4. 蕁麻疹・痒疹・紅斑症	・蕁麻疹, 痒疹, 紅斑症について具体的に述べるができる。	西盛 信幸	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5		5.2	7	5. 細菌性皮膚疾患・節足動物による皮膚疾患	・細菌性皮膚疾患・節足動物による皮膚疾患について説明できる。	松浦 大輔	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
6		5.9	7	6. 薬物アレルギー・炎症性角化症	・薬疹の検査, 診断, 治療について説明できる。 ・乾癬, 扁平苔癬について説明できる。	井汲 菜摘 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
7		5.16	7	7. ウィルス感染症・抗酸菌感染症	・皮膚科領域におけるウィルス感染症, 抗酸菌感染症について具体的に説明できる。	松浦 大輔	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
8		5.23	7	8. 物理的・化学的皮膚障害・光線と皮膚	・物理的・化学的皮膚障害, 光線の皮膚におよぼす影響を説明できる。 ・皮膚疾患のレーザー治療の基本事項を説明できる。	松浦 大輔	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
9		5.30	7	9. 湿疹・皮膚炎群	・接触皮膚炎, 金属アレルギー, アトピー性皮膚炎について, その検査, 診断, 治療を説明できる。	伊崎 聡志	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
10		6.6	7	10. 水疱症・膿疱症・色素異常症	・天疱瘡や掌蹠膿疱症の病態や治療について説明できる。 ・色素異常をきたす疾患を列挙し説明できる。	藤田 英樹	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

